

議 事 録																
会 議 名	令和7年第1回岡崎警察署協議会（定例会）															
日時・場所	令和7年3月5日（水）午後3時00分から午後5時10分までの間 岡崎警察署 講堂															
出席者	<p>1 委員 14名（定数15名）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">丹羽剛歳会長</td> <td style="width: 33%;">浅岡昌平副会長</td> <td style="width: 33%;">長坂秀志委員</td> </tr> <tr> <td>カガ イナ カエ委員</td> <td>前山敏昭委員</td> <td>山本弘行委員</td> </tr> <tr> <td>嘉村龍彦委員</td> <td>若杉伸一郎委員</td> <td>林 保克委員</td> </tr> <tr> <td>矢野快子委員</td> <td>米津ナオ委員</td> <td>豊田康介委員</td> </tr> <tr> <td>山本京子委員</td> <td>南野彩友委員</td> <td></td> </tr> </table>	丹羽剛歳会長	浅岡昌平副会長	長坂秀志委員	カガ イナ カエ委員	前山敏昭委員	山本弘行委員	嘉村龍彦委員	若杉伸一郎委員	林 保克委員	矢野快子委員	米津ナオ委員	豊田康介委員	山本京子委員	南野彩友委員	
	丹羽剛歳会長	浅岡昌平副会長	長坂秀志委員													
	カガ イナ カエ委員	前山敏昭委員	山本弘行委員													
嘉村龍彦委員	若杉伸一郎委員	林 保克委員														
矢野快子委員	米津ナオ委員	豊田康介委員														
山本京子委員	南野彩友委員															
<p>2 警察署員 9名</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">尾関署長</td> <td style="width: 33%;">梅野副署長</td> <td style="width: 33%;">小山警務課長</td> </tr> <tr> <td>稲葉会計課長</td> <td>丹羽生活安全課長</td> <td>森地域課長</td> </tr> <tr> <td>佐藤刑事課長</td> <td>山口交通課長</td> <td>水野警備課長</td> </tr> </table>	尾関署長	梅野副署長	小山警務課長	稲葉会計課長	丹羽生活安全課長	森地域課長	佐藤刑事課長	山口交通課長	水野警備課長							
尾関署長	梅野副署長	小山警務課長														
稲葉会計課長	丹羽生活安全課長	森地域課長														
佐藤刑事課長	山口交通課長	水野警備課長														
<p>3 有識者等 なし</p>																
<p>1 会長及び副会長の選出等 委員の互選により、丹羽剛歳委員を会長に選出し、会長は、浅岡昌平委員を副会長に指名した。</p> <p>2 会長及び副会長挨拶</p> <p>3 署長挨拶</p> <p>4 各種報告</p> <p>(1) 管内の犯罪発生状況（書面報告）</p> <p>(2) 管内の交通事故発生状況（書面報告）</p> <p>5 前回の意見・要望に対する具体的施策の推進状況（地域課長説明）</p> <p>(1) 協議事項 「警察に求める効果的なパトロール活動等」</p> <p>(2) 意見・要望事項</p> <p>ア 闇バイトによる住宅対象強盗被害の不安解消に係る活動の推進</p> <p>イ パトカーによる効果的な警ら活動の推進</p> <p>ウ ミニ広報紙等を活用した広報活動の推進</p> <p>(3) 推進施策</p> <p>ア 答申事項アについて</p> <p>(ア) 警察官の姿を見せることで「住民の安心感」の醸成</p> <p>(イ) 若年層への啓蒙活動</p>																

様式第9（続紙）

イ 答申事項イについて

(ア) 一斉街頭活動の実施

(イ) メロディパトロール及び見守り活動の実施

ウ 答申事項ウについて

(ア) 地域課員でのミニ広報紙の情報共有及びコンクールの実施

(イ) 商業施設や市役所での広報紙の掲示

6 協議事項等

交通事故の発生状況と今後の対策について

7 発言の要旨

- ・ 危険箇所や道路構造上の問題点等をSNSやラジオ等の様々なツールを活用して、市民に広報してほしい。
- ・ 高齢者の事故が減少しない。体力の低下を繰り返し広報すべきである。
- ・ 死亡事故の原因について検証が必要だと思う。
- ・ ドライブレコーダー映像による広報活動をすれば意識増加につながるのではないか。
- ・ 企業での講話を充実させ、知識より意識を向上させる活動の実施
- ・ パトカーを見るとドキッとす。警察官の姿を見せることが大切だ。
- ・ 自転車の一旦停止無視で事故が起きる。運転免許証を持たない人にも教養する機会が必要である。
- ・ 高齢者が集まる病院等でポスターを掲示すれば効果があると思う。
- ・ 横断歩道で車が止まるようになった。継続的な取締り、PR活動が大切である。
- ・ 事故が多い場所を検証し、歩車分離信号の設置など対策が必要である。

8 答申事項

(1) 広報啓発活動の推進

危険箇所等をSNSやラジオなど様々なツールを活用し広報する。

(2) パトロール活動の強化

パトカーによる警らや警察官の姿を見せる活動を推進し、車、歩行者の交通事故防止意識の向上に努める。

(3) 交通事故の原因解析及びそれに基づいた事故防止活等の推進

死亡事故等の原因を解析し、データに基づいた事故防止活動を推進する。

9 その他

次回開催予定は、令和7年6月上旬とする。